



1 学習に取り組んでいる主な分野

☐ 生物多様性	☐ 海洋	☒ 防災・減災	☒ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☒ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☒ 平和	☐ 人権	☐ ジェンダー平等
☒ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「将来の生き方を思い描き、社会に貢献する」を学校理念として、E S Dを大きな夢を抱き未来を創る子どもの育成と捉え、E S Dの実践を通して「課題解決力、新たな知識や価値観や行動力・体系的な思考力の育成」を目標とした。

例年、健康・福祉、人権・平和、世界遺産・地域遺産を柱に、①福祉事業にかかわる活動、②平和学習にかかわる教育、③職場体験にかかわる学習、④地域にかかわる学習、⑤地域とつながる活動を行っている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 防災学習

災害が多く発生している昨今、実際に災害に遭った時、どういった対応をとればいいのか、市役所の方や消防署の方に来ていただいて、体験的な学習を行った。災害の種類や「自助・公助・共助・N助」の4助といった防災・減災に関する基礎知識について理解を深めた。その発展の場として、実際に使われる段ボールベッドや簡易テントを組み立てて、避難所の雰囲気を経験することができた。また、田隈中学校に備蓄されている非常食を確認し、保存期間の長さや、火を使わずに簡単に調理できることを学んだ。また、学んだことを防災新聞としてまとめて防災への意識をさらに高める姿勢が見られた。



○ 車椅子体験

障がいがある方もスポーツを楽しむためにはルールや道具にどのような工夫が必要か、桜花台クラブさんに実際に競技で使われる車いすを使って体験をさせていただいた。スポーツとは、年齢、性別、障がいの有無などに関係なく誰もが楽しく取り組むことができるものということを前提にルールの工夫を学んだ。また慣れない車いすを操作し、協力してバスケットボールを行う生徒の姿が見られた。



○ 希望のチョコレート

普段私たちが食べているチョコレートはどこでどのように作られているか、株式会社明治さんに講演をしていただいた。カカオの原産地であるガーナでは、雨が降らず農作物がとれないことや、病院や医者数が不足していることを知り、自分たちに何ができるか話し合った。貧困で苦しんでいる人や地域の現状を学び、給食時の残食や水の節約を心がけようとする生徒の姿があった。



3 今後の活動計画

次年度も、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、通常とは異なった様々な取組をしていくことが想定される。体験活動自体をすすめていくことは、かなり困難になると思われるので、オンラインを活用した交流や、ゲストティーチャーを招いての活動を設定していきたい。

1 学年は、福祉事業と平和学習に係わる活動

地域学習では、大牟田検定による学習 (SDG9, 11)

福祉学習では、GT を招いての車いす体験学習 (SDG3, 10, 17)

平和学習では、GT を招いての平和と人権についての学習 (SDG10, 16, 17)

2 学年は、防災学習と地域に係わる活動

地域学習では、大牟田検定による学習、GT を招いてのキャリア学習 (SDG8, 9, 11, 17)

防災学習では、さまざまな災害を想定した学習 (SDG3, 8, 11)

3 学年は、福祉事業に関わる活動

キャリア学習では、様々な職種の GT による講話 (SDG4, 8, 9)

地域学習では、大牟田検定による学習 (SDG9, 11)

福祉学習では、幼児教育の GT を招いての体験学習 (SDG3, 17)

全学年 (生徒会活動) は、フラワープロジェクトを通して、地域とつながる活動 (SDG11, 17)